

令和３年度 第３回坂東市地域公共交通会議 書面協議結果について

１．協議結果

委員数 ２１名（会長を除く）

回答数 ２１名

協議事項	承認する	承認しない
コミュニティバスの再編実施について	２１名	０名

回答をいただいた委員２１名のうち、過半数を上回る委員の承認を得られたことから、坂東市地域公共交通会議条例第４条第３項に基づき、原案のとおり可決されました。

２．委員からのご意見等

今回の議事に対して、委員からいただいたご意見と事務局からの回答は以下のとおりです。

意見をいただいた議事
協議事項（１） コミュニティバスの再編実施について 報告事項（１） デマンドタクシー市外便に関するアンケート調査の結果について
委員からのご意見等（１件）
将来的に高齢化が進む中で、自分のこととして考えても、コミュニティバスよりもデマンドタクシーの市外便の利用に向かうかなと思います。コミュニティバスの効率的再編を実施し、経費を削減して、その分をデマンドタクシーの増便につなげていくようお願いしたい。また、アンケート結果にもあるよう、当日の予約を何とか可能にするよう、一人暮らしの方々が増える今後、急なこともあるので、対応を検討してほしいと思いました。 他県他市町との情報交流の中で、進めているとは思いますが、工夫されてまずまずの成果をあげている事例で、坂東市の状況に近いものがあれば紹介していただきたいし、多様なアイデアを外部からお金はかかるが仕入れて検討下さい。これからも高齢化社会に向けての対応をよろしくお願いいたします。
事務局からの回答

当市においては、自分で運転する自動車や家等の送迎で移動される方が多く、今後も、そういった方々が高齢者となる流れを考えると、委員のご意見のとおり、自宅から目的地まで送迎するデマンドタクシーの方に利便性を感じる方が多くなることも考えられます。一方で、利用登録や予約が必要なく誰でも利用できるコミュニティバスを利用されている方がいるのも現状です。当市の公共交通網形成計画では、目指すべき姿を「バス交通を軸とするまちづくり」としており、需要の多いエリアはバス、需要の少ないエリアやバスの利用が難しい高齢者や障がい者等はデマンドタクシーにより移動手段を確保することとしております。市内公共交通の軸としてコミュニティバスの運行の効率化を図るとともに、公共交通の利便性の向上に努めてまいりたいと思います。

デマンドタクシーの当日予約については、アンケートでも多くの要望をいただいているところです。利便性の向上を目指し、本事業の費用対効果を含めて、検討を進めていきたいと思います。

昨今は、自動運転や AI（人工知能）を活用したオンデマンド交通をはじめとしたデジタル技術が発展し、それらを導入（実証運行）する自治体も増えてきています。当市としても、先進技術の動向や他自治体の取組事例については、今後も注視していき、各種施策の検討・実施にあたり参考にしていきたいと思います。